米ー1グランプリ in らんこし 準グランプリ受賞

11月17日、後志管内蘭越町で「第8回米－1グランプリ」の決勝大会が開催されました。決勝大会には、道内外から29人が参加し、今金町からは道南地方を代表し、吉本辰也さんが出場しました。

出品したお米は、一般審査員6名、特別審査員8名による厳正な審査を受け、その結果、準グランプリを受賞しました。吉本さんは「いい経験になり、おいしいお米を作っていきたい」と今後の抱負を述べていました。



バレエと音楽の夕べ

11月24日、今金小学校体育館で今年で4回目となる「バレエと音楽の夕べ」（主催:今金バレエサークル、共催：（公財）北海道文化財団）が開催され、350名を超える方が集まりました。

公演の第一部はバレエコンサートでピアノやフルートなど生演奏に合わせてバレエを踊るステージ、第二部は白鳥の湖ダイジェストの構成となっており、最後のフィナーレでは出演者に大きな拍手が送られました。来場者からは「本当に良かった！」「主役の二人の演技に感動した！」などの感想が多く聞かれるなど、普段日常的にふれる機会の少ない舞台芸術を楽しみました。



認定こども園おゆうぎ会

12月1日、「第8回認定こども園いまかね　おゆうぎ会」が開かれ、保護者や祖父母、また関係者など、およそ150名の来場者で会場が埋め尽くされました。

3歳児の「はじめのことば」による歓迎の挨拶から始まり、各組による曲に合わせた踊りが披露されました。年長児は「こびとのくつやさん」と「うらしまたろう」の劇の披露があり、園児たちによる日頃の練習の成果が発揮され、それを見守る保護者の方々は子どもたちの成長を改めて感じられる日となった様子でした。最後は年長児たちによるお礼と感謝の言葉で幕が閉じられました。



ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日

11月16日、「ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日」が、町内各小中学校、へき地保育所、認定こども園の給食の時間に行われました。これは、今金町内の子ども達が生産者の作物に対する思いや育てる苦労を知り、「ふるさとの恵み」と「生産者」に感謝する心を育むことを目的として、町内生産者より無償提供された野菜を使用した給食を食すというものです。今金産食材を使った「おにぎり」、「じゃがいもの塩煮」、「具だくさん呉汁」を感謝していただきました。





檜山北部地域包括ケアシステム構築に向けた研修会

11月30日、町民センターで、「檜山北部地域包括ケアシステム構築に向けた研修会」が開催され、今金町、せたな町の医療・介護・行政職員等94名が参加しました。医療法人家庭医療学センター理事長の草場鉄周先生を講師に「地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療と介護連携」をテーマに講演がありました。その後、当地域における在宅医療の可能性について今金町の現状と課題を示したグループワークを実施し、訪問看護の再開や病院と診療所の連携など具体的な課題解決に向けた意見交換が行われ、高齢者が住み慣れたまちで元気に暮らし続けることができる“地域づくり”の手法とアイデアの共有が図られました。





今金中学校人権作文表彰

12月4日、今金中学校で「第38回全国中学生人権作文コンテスト八雲地区大会表彰式」が開催されました。本表彰式は、函館地方法務局八雲支局及び八雲人権擁護委員協議会主催で行われ、3年生の田畑優真さんと鈴木葉奈さんに、八雲人権擁護委員協議会の大谷会長から表彰状が手渡されました。

両名は、基本的人権の重要性をよく理解しているとして応募者総数140名の中から7名の入賞者に選ばれ、優秀賞を受賞しました。また、田畑さんは、八雲地区大会より上位の函館地方大会でも優秀賞を受賞しています。





▲写真前列左より鈴木葉奈さん、田畑優真さん

今金八幡宮大しめ縄作り

12月3日、今金八幡宮参集所で「大しめ縄作り」が行われました。町内各地から刈り取ったすげを約5か月かけて乾燥させ、朝から集まった10名の総代・神社委員の手によって見事な大しめ縄が計3本作られました。また、国道沿いの第一鳥居に架けられる大しめ縄は、長さ約10m、重さ約50kgというものになります。

作られた大しめ縄のうち2本は、今月の末に第一鳥居と本殿に架けられ、残り1本は函館の北海道東照宮へ奉納されます。





今金中学校改築基本計画設計競技公開プレゼンテーション

12月9日、町民センターで「今金中学校改築基本計画設計競技公開プレゼンテーション」が開催されました。今回の公開プレゼンテーションは、2021年度着工予定の新しい今金中学校の基本計画について、16人の選考委員と町民に対して、3業社から工夫を凝らした校舎や、特徴的な屋外環境施設など、様々な提案がありました。

プレゼンテーションの後に開催された選考委員会において最優秀設計案が決定し、今後、決定した業者と検討を重ね、安心安全で将来の教育形態に対応できる今金中学校を目指します。





洋食のマナーを体験しよう！

12月9日、町民センターで「洋食のマナーを体験しよう！」が開催されました。今金中学校の2年生を対象にわたなべ店主の渡辺正治氏を講師に招いて行われた本事業は、服装や食事の仕方、近年のマナーも踏まえた内容を学習しました。スープ、サラダ、チキンステーキなどのメニューを、教わったマナーの内容を思いだし、緊張しながらも楽しそうに食べていました。

生徒を代表し、伊藤颯紀（さつき）さんは「色々なルールがあっておもしろかった。テーブルマナーは将来役立つものになるので勉強になった」と感想を述べました。



